訓練 **弟子たち**

会期 **14: お互いに愛する(6c)**

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **コリント人への第一の手紙 13:4-5a**
4「愛は忍耐強く優しい;愛は嫉妬も誇示もしない;傲慢でも無礼でもない。」

ステップ3: *聖書章の全部または一部を読んで議論してください – **コリント人への第一の手紙 13章***

***ステップ4**:* 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. 信者が実際にキリストの体/教会に入る時を考えてみてください。

二. キリストの贖い合衆体は、壊れていても自分自身に死を遂げ、完全にキリストに服従している健全な人々の集団であるべきです。

三. なぜキリスト教会の一致が不可欠なのでしょうか?

四. 著者は、身体の不一致は傲慢の罪(嫉妬)の結果であると述べています。

五. 弟子にとって共同体の利点は非常に大きく、それなしでは生き残ることがほとんど不可能であることを理解していますか?

***ステップ5**:本の内容を読み、議論する:*

著者キース・フィリップスによる第6c章:

コミュニティは他の信者とのつながりです

弟子は、他の誰かが愛の対象となることなく、どうやってキリストの「互いを愛し合う」という命令に従えるのでしょうか?他のキリスト者がいなければ、どんなキリスト教徒も健康でいられません。だからこそ、すべての信者は回心するとすぐに体に入るのです。「今や、あなたはキリストの体であり、個々の体の一部でもあります……なぜなら、私たちは一つの霊によって一つの体に洗礼を受けたからです……」(コリント人への第一の手紙12:27,13、斜体は付け加えた)立場として、すべてのキリスト者はキリストの贖われた共同体の一員です。聖書は機能のない地位の可能性について一切言及していません。身体との実践的な関係なしにキリスト教的な生活を送ろうとすることは、せいぜいリスクの高い推測です。したがって、すべての弟子が健康で機能するキリスト教の身体に属することが最優先事項です。健康なキリスト教の身体は一致によって特徴づけられます。それは自らに死んだ弟子たちで構成されており、キリストに完全に服従しています。彼らは「神が御心のままに体の各部分を配置された」(コリント人への第一12章18節(NIV)を知って安らぎます。使徒行伝はキリスト教会における一致の中心性を記録しています。初期の信者たちは密接な家族でした。ペテロがペンテコステで説教したとき、他の使徒たちも彼と共に立ちました(使徒行伝2:14)。1世紀の弟子たちは共に学び、食べ、交わり、祈りました(使徒2:42)。彼らは「すべての共通点を持っていた」(使徒2:44)。健康な体のどの部分も独立して行動することはできません。もし脚が協力しなければ、私の毎日のジョギングは大きく妨げられてしまいます。もし右足が前に進み、左足が後ろに下がると、顔から倒れてしまいます。

キリストの体の各メンバーの言葉と行動は、信者の間の一致を促進しなければなりません。一致は交わりを通じて育まれます。定期的で正直なコミュニケーション; そして自由に赦しを与え、受け入れること。弟子は、自分の善を犠牲にして身体の福祉のために献身します。なぜなら、一致が神に栄光をもたらすと知っているからです。一致は共同体の目的であり、実りでもあります。ワールドインパクトでは、グループで準備し、チームで教え、共に働き、生活し、リラックスします。これにより私たちの一致が強まり、キリスト教の成長とミニストリーが促進されます。私たちの学生や隣人は、私たちが互いにどう関わっているかを見ることで、私たちの言葉を聞くよりもはるかに多くのキリスト教の愛を学びます。世界は私たちの一致を通して神の愛を理解します(ヨハネ17:21-23)。身体内のほとんどの不一致は誇りに根ざしています。私たちは自分たちの権利を求め、自分の時間を守り始め、十字架でキリストに出会ったときにそれらを神との平和と交換したことを忘れてしまいます。私たちは、すべての行いを通じて神に栄光をもたらすよりも、人々の賛美を受けようとします。イエスはパリサイ人を非難しました。「彼らは神の承認よりも人の承認を愛したからです」(ヨハネ12:43)。誇りは自己死を否定することであり、神の民の中にふさわしくないものです。危険な誇りの形態は嫉妬です。嫉妬は、神に効果的に仕えるためにはすべてのメンバーの協力が必要な身体を麻痺させます。ヤコブ3章16節は「嫉妬と利己的な野心があるところには、無秩序とあらゆる悪しきものがあるからだ」と警告しています。嫉妬がキリスト教の身体に忍び込むことがあるのは理解できます。この書でさえ分裂を引き起こす可能性があります。ご存知の通り、私が著者である一方で、私たちのディレクターや他の数人のリーダーからの提案から大いに恩恵を受けました。その後、ロサンゼルスのスタッフ5人が編集を手伝ってくれました。さらに4人が無私の献身で原稿のタイプ作成に尽力しました。これらの寄稿者の誰一人でも「これだけの労力をかけたのに、誰にも分からないだろう」と言うかもしれません。「キースがすべての功績を手に入れている」と。嫉妬。しかし、これらの弟子たちは、すべての栄光がキスではなく神に与えられることを知っているため、嫉妬は避けられます。神は霊的に壊れ、謙虚な心を持ち、個人的な栄誉に興味を持たず、キリストの十字架にのみ栄光を捧げる人々を用います。「見よ、兄弟が一致して共に住むことがいかに良く、喜ばしいことか!」(詩篇133:1 KJV)機能するキリスト教の身体は、すべてのメンバーの成熟を促そうとします。身体は最も弱い部分よりも強くないため、その健康は各メンバーの幸福に依存しています。ローマ人への手紙12章5節には「我らは多くの者はキリストにあって一つの体であり、個々の組織として他の組織である」と書かれています。身体の構成員同士の関係は非常に親密で、一人に影響が及ぶことはすべての人に影響します。ある時、友人と小さなボートでセーリングに行きました。戻ると、彼はボートが桟橋に衝突しないように、埠頭の金属製のクリートにボートを結びつけてくれと頼みました。裸足で喜ばせたい気持ちで、私はロープを手にボートから飛び降りました。残念ながら、親指がしっかりと固定されたクリートを抜こうとしましたが、クリートはびくともしませんでした。足の指が痛みでズキズキと痛みました。ロープを落とし、ボートは桟橋に激突しました。すぐに、私の体のあらゆる臓器、手足、機能が足の指の状態に全神経を集中させました。私の胃はもはや昼食のことを気にしませんでした。口は不器用な足の指を叱ることもありませんでした。手はもはやロープを固定しようと焦ることもありませんでした。頭は船の損傷など気にしませんでした。体のあらゆる部分が足の指の健康を恥じることなく気にかけていました。足の指が痛むと、全身が痛みました。キリストの体も同じです。私たちは非常に密接な交わりにあって、一人が傷つくと私たち全員が痛みます。一つの部分が喜ぶとき、私たちも皆喜びます(ローマ人への手紙12:15)。傷つくクリスチャンは、共同体から苦しみを隠すことはできません。彼の重荷や心の痛み、心配はすぐに体を通じて頭に伝えられ、適切な対応を調整します。身体はあらゆる弱さや傷を自分の血流に流し込み、赦しと癒しを通じて浄化することで健康を促進します。この親密さを欠くのは病んだ身体だけです。成熟した身体のメンバーは、「教会に行く」という不完全な考えから、自分こそが教会であるという聖書の教えへと進化しました。キリストにおいて、弟子たちは「神が御霊によって生きる住まいとなるために共に建てられています」(エペソ人への手紙2:22 NIV)。もはやレンガとモルタルに縛られることなく、教会はビジネスの世界、学校、地域社会で全力で機能しています。礼拝は日曜の朝に限定されなくなります。すべての行動、言葉、思考が神への礼拝として捧げられます。

弟子にとって共同体の利点は非常に大きく、それなしでは生きていくことがほとんど不可能に近いのです。弟子が自分をよく知る敬虔な人々に服従している場所は他にどこにあるでしょうか?彼はキリスト教的成長と成熟に対して育まれ、愛情深く責任を負うことができるでしょうか?他者の人生を観察することでキリストのようになれる場所は他にどこでしょうか?他にどこで甘く純粋な交わりを体験できるでしょうか?隣人の愛にこれほど確固たるものがあり、神が彼を愛するように他者を愛する自由に解放される場所は他にいるでしょうか?彼は創造主への賛美と礼拝の絶え間ない賛歌を一声で歌う合唱団に属する場所が他にどこにあるでしょうか?彼の世界への証しがこれほど明るくなれる場所は他にどこでしょうか?彼は他にどこで弟子になれるでしょうか?

67-71ページ

弟子たちのチェックリスト – 互いに愛し合う
____My他のキリスト教徒への愛は目立つ。
____I過去、現在、未来に対する神の赦しを受け入れました。
____I神の私への赦しに基づいて自分を許しました。
____I他人をすぐに許します。
____I他人の許しを受け入れます。
____I健全で機能するキリスト教コミュニティの一員です。

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれがお互いの願いを祈り合います。*

出典: 弟子の形成 キース・フィリップス博士著。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から抜粋し、改訂は加えていない。

改訂20261011